

新高通信



第79号

秋田県立新屋高等学校

『社会の幸福に貢献するために』

新屋高等学校 教頭 工藤雅文



今年の4月に赴任し、早半年以上が過ぎました。新型コロナウイルスによるパンデミックの中で徐々に従来の形に戻りつつあるものの、まだ多くの制限の中で学校生活を送っております。何が日常なのかが分からなくなってしまったような生活だからこそ、社会へと巣立っていく生徒の皆さんに是非身につけて欲しい考え方を地域の方々にもお伝えしようと思います。

私は、生徒の皆さんに本校の教育目標である「社会の幸福に貢献できる人材を育成する」を達成するために二つの考え方を育てて欲しいと考えています。

一つ目は、「しなやかな感性」です。「しなやかな感性」とは、国籍・人種・言語・宗教・文化・信条・身体障がい・性別・性的指向性などが自分と異なる人を受け入れ、理解し、敬意を表すことができる感性です。異なる立場にある人に思いを寄せて、それぞれの人がどんな思い（苦しみや悲しみなど）をしているかを感じられれば「しなやかな感性」を持っていると言えるでしょう。今年度から県内で、いや全国にも先駆けてジェンダーレス制服を導入した本校です。普段から考える機会があると思いますので、身近なところから少しずつでも良いので是非「しなやかな感性」を育てて欲しいと願っています。

もう一つは、答えのない未知の問題に自分なりの解決策を考える「たくましい知性」です。新型コロナウイルス感染症はその典型ですが、今日の地球上の問題は、人類の誰一人答えを知らない問題ばかりです。地球の温暖化、貧富の差の拡大、軍事大国の隣国への侵略、県内においても想像以上に急激に進む人口減など、数えればきりがありません。このような問題への完璧な解決策は世界中の誰一人持っていません。また、正解は一つではなく、複数の答えがあるかもしれないのです。生徒の皆さんは、日々の授業で、主体的・対話的で深い学びの実現を目指していますし、本校は、秋田県SDGsパートナーでもあります。生徒の皆さんには、「社会の幸福に貢献する」という目標を達成するためにこれらの問題の解決策を考える際に、どのように自分の頭を使って考えるかを学び、「たくましい知性」も育てて欲しいと願っています。

私は、「本気で挑戦し続ける新屋高校」という今年度の重点目標を念頭に置き、生徒の皆さんが二つの考え方を育てていけるように本気で挑戦していきたいと思っています。それが地域貢献にも繋がると信じております。今後とも新屋高校に対する変わらぬご支援、ご指導をお願いいたします。

ももさだ講演会

『新屋高校生よ！大志を抱け！』

11月18日（金）体育館で全校生徒を対象に本校卒業生で秋田県議会議員の佐々木雄太氏の講演会が開催されました。

講演では、新屋高校時代の思い出から始まり、自身の生い立ちや政治家になるまでの道のり、そして政治家としての今までとこれからの思いが述べられました。結びには自身の挑戦してきたこれまでから得られたことを述べた上で、新高生にも「挑戦することの大切さ」を伝えられました。



『やれるかやれないか』ではなく、『やるかやらないか』だという言葉とともに、後輩へのエールを送ってくださいました。

生徒会活動

若者と地域をつなぐプロジェクト
新屋高校SDGsフェスタ2022

本校生徒会17名の生徒が12月18日（日）に千秋松下で行われた「若者と地域をつなぐプロジェクト成果発表会」に参加し、夏休みから半年間継続して取り組んできた「食べる」にまつわる観察内容を発表しました。また24日（土）にはにぎわい交流館AUにて新屋高校SDGsフェスタ2022を開催し、小学生を対象にゲームを通して秋田県のSDGsを学んでもらいました。



**「PTA校外指導部「朝の登校指導」とPTA
研修部「そば打ち体験」 総務部 高橋 健**

1月14日(月)～18日(金)の期間で、昇降口前や学校坂下の横断歩道において教職員、風紀委員、生徒会執行部が中心になり「朝の登校指導(あいさつ運動)」を行いました。18日(金)にはPTA校外指導部の保護者の方々にも指導にご協力をいただきました。9月に引き続き2度目になります。18日(金)の朝は今



シーズン一番の冷え込みになり、吐く息が白くなり、中での指導が難しくなりました。PTA校外指導部の保護者の方には、非常に寒い中で指導にご協力いただき誠に

ありがとうございました。

また12月3日(土)本校調理室において、学校後援会前会長の武藤真作さんを講師に迎えて毎年恒例となっているPTA研修「そば打ち体験」を開催しました。研修では、そば粉からの生地づくりに始まり、生地を伸ばして畳んだものを専用の道具で切ってそばを作りました。参加された皆さんは、ほとんどの方が初めてで苦労された場面もありましたが、講師の武藤さんの指導のもと、上手にそばを作ることができました。研修の最後に、作ったそばを茹でて氷水で締めていただきましたが、打ち立てのそばの味は格別でした。講師を務めてくださった武藤さんと、参加くださいましたPTA会員の皆様方には改めて感謝申し上げます。



「あと少し」

3年部 佐々木 渉

合格祈願のダルマの目に墨を入れた、就職・進学壮行会から3ヶ月以上が過ぎました。自分の進む方向に迷って「ぶれない」こと、努力をせず楽な方へ安易に目標を「下げない」こと、自分が直面していること、やらなければならないことから「逃げない」こと、そして最後まで「あきらめない」こと。「ぶれない」「下げない」「逃げない」「あきらめない」、この4つを合い言葉に3年生は本気で挑戦を続けています。思い描いたとおりの成果を得た生徒もいれば、不本意な結果だった生徒も、これから挑戦を控えている生徒もいます。いずれの生徒もこれまでの過程で、何か成長しているはずですが、その成長は自分自身では気がつかないものですが、大丈夫、きっとあなたは成長しています。自分を信じて前に進んでください。

12月も半ばを過ぎ、卒業式までの登校日は20日を切りました。167名全員の進路が決定し、旅立ちの準備が整う日まであと少し。みんな支え合って、みんな協力して、自分自身の挑戦を続けてください。そして、理想の自分になる、大きな夢を叶える、「いつか」を目指

して、歩み続けてほしいと思います。

**「学校保健委員会を開催しました」
保健教育相談部 大関 由理**

1月17日(木)、本校会議室において学校保健委員会を開催しました。参加者は、学校医の木村衛医師(木村内科クリニック)・佐々木大輔医師(ささき歯科クリニック)、校長・教頭・事務長・生徒指導主事・各学年部主任・保健教育相談部員の計15名でした。

校長挨拶の後、養護教諭の豊嶋先生から今年度の学校保健計画、保健行事実施状況、生徒定期健康診断結果、保健室利用状況等の説明がありました。

次に、学校医から指導助言をいただきました。佐々木医師からは、本校の歯科検診結果を検証した結果、全体的に見て、本校生徒の歯の状況は良好で、マスク生活の害は出ていないという評価をいただきました。木村医師からは、ワクチンについての詳細な説明がありました。インフルエンザワクチンは年に一度の接種で十分効果があるけれど、新型コロナウイルスワクチンの効果持続期間は約3ヶ月であるため、繰り返し接種する必要があるとのことでした。生徒に対しては、ごく当たり前の生活をするよう指導してほしいと話されていました。

今後とも本校生徒の健康維持のために御協力くださるようお願いして、会を終了いたしました。

部活動の記録 (10月25日以降開催分)

(全県大会3位以上)

〈弓道部〉

第41回東北高等学校弓道選抜大会
男子団体 優勝
男子個人 第6位 田仲 凌大

〈バドミントン部〉

秋田県高等学校新人大会
女子学校対抗 第1位 (東北大会出場)
シングルス 第2位 山内 ころこ
(東北大会出場)
ダブルス 第3位 南波 美央
山内 ころこ

〈写真部〉

秋田県高校文化祭総合美術展
推奨 大塚 美緒

〈書道部〉

秋田県高校文化祭総合美術展
推奨 後藤 あい

〈吹奏楽部〉

秋田県青少年音楽コンクール
管・打楽器部問金賞 齋藤 楽也

〈美術部〉

秋田県高校文化祭総合美術展
デザイン 推奨 川村 直生

〈理科研究部〉

秋田県児童・生徒理科研究発表大会
齋藤憲三・山崎貞一賞
全国ユース環境活動発表大会東北地区大会
優秀賞